

秋グロを釣り行つど

クロ釣りファンの皆さん、釣りに出掛けていますか？。磯はだいぶ秋らしくなつてきて、いい感じだと思えますヨ！。もちろん水温はまだ高いです。でもクロは釣れます、と言うより釣れるところに行つて、基本通りにエサ盗りを寄せ、潮を見て、仕掛けを作つて投げるだけ、それで釣れます。

逆に、釣れない所で一生懸命やつても厳しい結果になり、エサ盗りを分離する努力をしない、潮を見てポイントを決めない、タナが分からないのに仕掛けを作つても時間のムダだと思えます。そこで、私なりの秋グロ釣りの考え方を分かりやすく書いてみようと思ひます。

磯場選び

まず、A級磯には乗らないほうがいいと思ひます。と言うのも、エサ盗りが凄いと思うからです。一年中釣り人が入つて、エサが撒かれていて、そのような所は、潮通しが良いポイントが多いので、どんな魚が寄つて来ます。どうしても、そこが良いと言う人は、マキエサを多く持つて行くか、潮裏を釣るか、朝から夕方まで粘つて頑張るとかして、根気よく釣る必要があると思ひます。

A級磯には乗らないほうがよい!?
夜釣りが乗つてない所がいい!?

私の場合、海が時化て沖磯が使えない時に、湾の中とか地磯で釣りをしますが、秋磯もそのような所を選んで乗るようにします。波気がなく、もちろんサラシもあまり無い所を選び、池や湖の様な感じで少しの流れがある所が文句なしです。この様なB級、C級の磯はあまり釣り人が入っていない

ピンチ!!
竿1~2本先は
グルクン大群
竿3本先はイスズミ
どうしたものか!?

実釣

9月25日(日)に下鶴島の瀬々野浦に川内港から永福丸さんで釣行しました。季節柄お客さんも少なく、快適な船中で約2時間弱で到着です。

釣り場は、ナボレオン岩が前方に、後ろには瀬々野浦港が見える私の好きな「平瀬」です。この瀬は潮位が高い時、ウネリがある時等

軽くて持ち重り
しない竿

ラインメンディング
しやすい細い道糸

遠投しやすい
自重のあるウキ

細軸から中軸のグレバリ

秋グロを考える上で、まずB級・C級磯の波気のない静かな磯に降りてマキエサも遠投が出来るように作つて打つてみます。エサ盗りを足元に寄せて、沖の海面に変化のある所、もしくは沈み瀬があれば、その周辺を狙うように仕掛けを作ります。

その時の仕掛けは、遠投しやすい自重のあるウキ。そして、遠投してもラインメンディングがしやすい、1.5~2号までの細い道糸を使用します。竿はこれらの仕掛けを自由自在に操れる、軽くて持ち重

りがしない1.5号までを使用するのが、疲れなくてよいと思ひます。

は、乗礁出来ない低い磯ですが、足場は良いのです。この日は、長潮で乗礁可能でした。

早速、マキエサを足元に撒いて、エサ盗りや潮の流れを確認します。すると、物凄い数のグルクンとイスズミがチラホラ居ます。イスズミは、この時期の税金のようなもので、どこへ行つても居ます。問題はグルクンです、試しに仕掛けを入れてみると、足が速いので案の定

すぐに飛びついて来ます。竿1本先、2本先まではグルクン。竿3本先は良型のイスズミです。

潮はほとんど流れていないか、フラフラ潮の感じですか、仕掛けを入れると、風で滑つて右に流される感じかな？。磯際は、風の影響もな

ナボレオン岩
下鶴島
手打湾
瀬々野浦
平瀬



また、場所によっては、まだ夜釣りのお客さんも来られています。が、夜釣りの後に昼釣り、同じポイントに乗るのは避けたいと思ひます。「一晩中エサを撒いて、しかもカゴ遠投、フツ込み釣り等をした後は、ほぼ確実に昼釣りはエサ盗り天国になります。船長が「いい場所だよ」と天使のささやきをきいても、「夜釣りの人が乗つてない

私 は1日分(約8時間)として、オキアミ生3kgを2角、アミエビ1/8を2角。配合エサとしてマルキューの「グレパワーV9」を1袋、「グレの道」を1袋、「超遠投グレ」を1袋、それと予備として「グレパン」を1袋の合わせて4袋準備します。これを2回に分けてよく混ぜて、どんな状態でも遠投が出来るように仕上げてます。

作り方は、まずアミエビを細かくつぶします。そしてオキアミは適当につぶします。これは人によって異なり、オキアミも細かくつぶす人もいます。私はマキエサの中にオキアミの形が残っていると、ツケエサの原形が違和感なくエサ盗りの層を突破しやすく、クロも自然にツケエを喰いこむような気がしま

オキアミは
適当につぶす!?

マキエサ
所!とはつきり言つて下さい。

グレパワーV9 グレの道 超遠投グレ
グレパン くわせオキアミスペシャル

南のつりアドバサ
野間辰美

